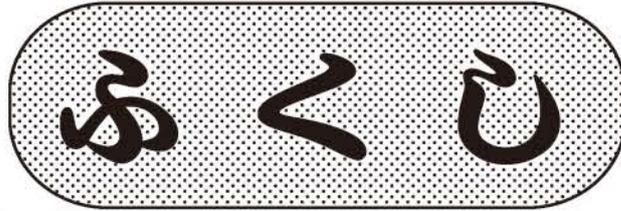


鋸南町社協だより



第 174 号
平成27年1月20日



心豊かな福祉社会をめざして

発行所
社会福祉法人
鋸南町社会福祉協議会

〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町
保田560
電話 0470-50-1174

第26回 鋸南町社会福祉大会

～助け合い やさしい気持ちと 思いやり～

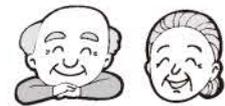
平成27年1月31日(土) 13:00開会
鋸南町立中央公民館 多目的ホール

式典 (13:00~13:40)

表彰状・感謝状贈呈
福祉作文・標語の表彰
大会宣言

作文発表 (13:45~14:00)

福祉作文優秀作品の
朗読発表



受賞者は次の方々です。(敬称略)

福祉功勞表彰

生貝はつ子 小藤田哲也

ボランティア功勞感謝状

【個人】石井恒夫 峯村初良
【団体】綸の会 (代表 大古直江)

高額寄付感謝状

匿名 (鋸南町上佐久間)
匿名 (鋸南町竜島)



福祉作文表彰

【優秀賞】(発表者)

重田心紀 村井佑伎 加藤あゆみ

【優良賞】

吉田野乃 高濱莉音 山口 玲 松浮定敬
能重百花 石井優成 池田颯希 吉本梨花
中山丈志 田代茉央 早川志穂 堀井浄里

福祉標語表彰

【最優秀賞】

高橋龍希

【優秀賞】

新藤麻帆 福原綾子 菊間優那 新藤悠真
吉田梓乃 川名龍心 重田心紀 山野 歩

◆当日は“鋸南町健康福祉まつり”として、他にも催し物がいろいろ
ありますので、皆様お誘い合わせの上ご来場下さい！

～地域全体で支え合い～

『歳末たすけあい運動』実施報告

誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域全体で支えていく取り組みとして、「歳末たすけあい運動」を毎年実施しています。

本年度も、皆様からの歳末たすけあい募金を財源として、民生児童委員や食生活改善協議会の皆さんのご協力により実施しました。

ご協力ありがとうございました。

1. 歳末たすけあい支援金の給付

- ・ 準生活保護世帯へ生活支援金を給付（24世帯）
- ・ 寝たきりの方を介護している世帯へ生活支援金を給付（4世帯）

2. 昼食プレゼント

- ・ 71歳以上の一人暮らしの方に食生活改善協議会の手作り昼食をプレゼント
368名・・・保田地区：170名
佐久間地区：38名
勝山地区：160名

3. 地域福祉推進事業の基盤強化

- ・ ボランティア連絡協議会へ活動費を助成
- ・ 社会福祉協議会各支部へ活動費を助成
- ・ 昼食プレゼントの対象者を基準に救急医療情報キットを配布（救急医療情報キットについては左ページをご覧ください）



いざという時に備えて……



心のこもったお弁当です

支部社協も「歳末お見舞い」を実施しました

【保田支部】

保田地区にお住いの71歳以上の一人暮らしの方を対象として、12月11日（木）に昼食プレゼントと合わせて実施しました。

民生児童委員が一軒一軒訪問し、靴下とクッキーをお見舞品として、177名の方にお配りしました。

受け取った方々からは、たくさんのお礼の言葉をいただきました。



プレゼントを渡す
民生児童委員



小学生の訪問に
満面の笑顔です

【勝山支部】

勝山地区にお住いの71歳以上の一人暮らしの方及び寝たきりの方を対象として、12月13日（土）に実施しました。

勝山地区の区長、民生児童委員と鋸南小学校の6年生有志が、167名のお宅を一軒一軒訪問しました。

勝山支部からのカイロやお菓子に、小学生6年生全員で作ってくれたメッセージカードを添えてお見舞品として届けると、どなたも一様に笑顔を見せてくれました。



《救急医療情報キット》とは？

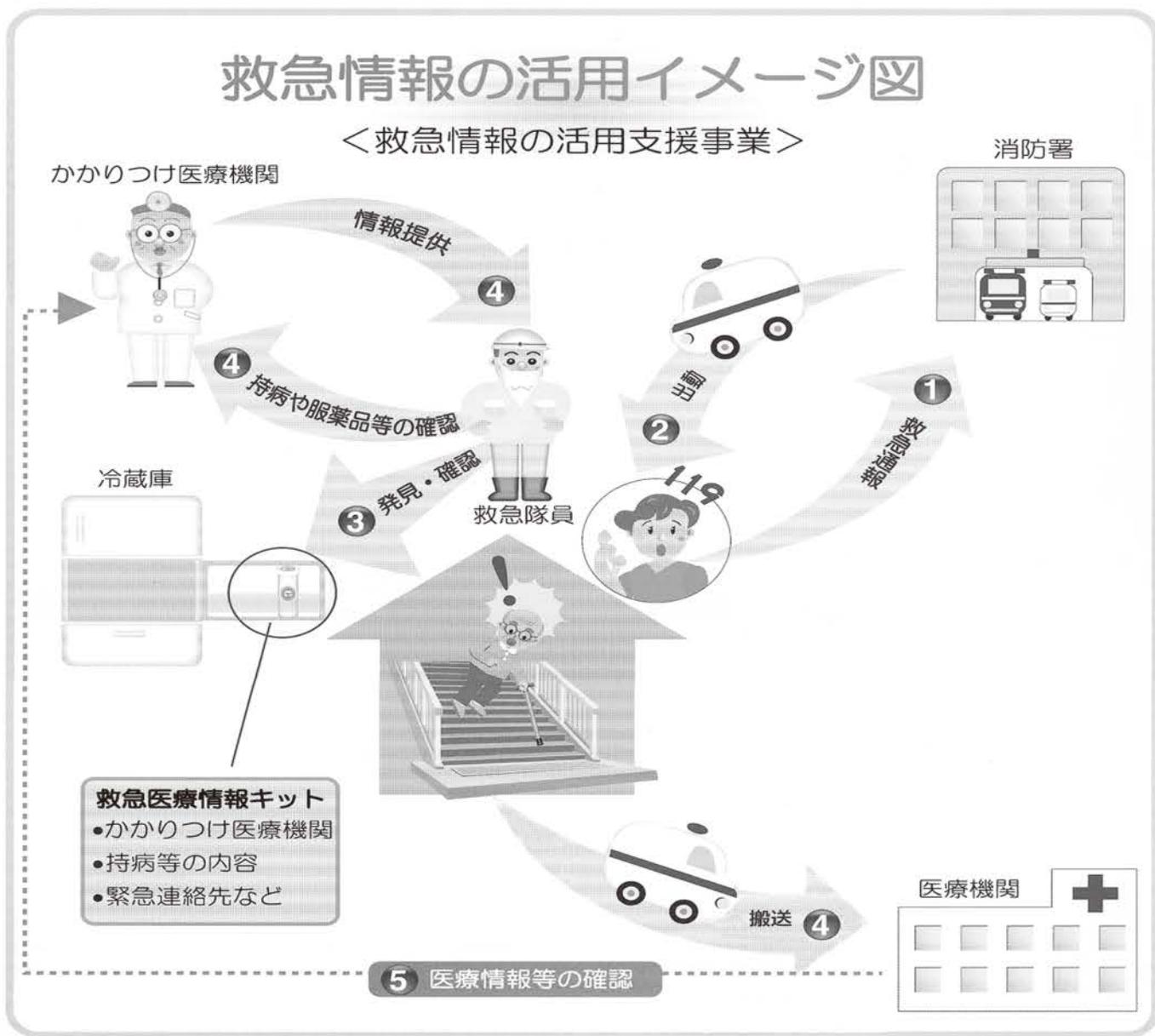
高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に「かかりつけ医」「薬剤情報提供書(写)」「持病」などの医療情報や、「診察券(写)」「健康保険証(写)」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。

また、救急時には下記のような仕組みにより迅速な救命活動を行うシステムです。



救急情報の活用イメージ図

＜救急情報の活用支援事業＞



過去最大人数が来場！

『第6回 鋸南町ボランティアのつどい』

11月16日(日)に鋸南町立中央公民館で、「鋸南町ボランティアのつどい」が開催されました。

このつどいは町ボランティア連絡協議会が主催し、ボランティア相互の情報交換、親睦交流を図るとともに、町内外に活動を広く理解してもらうことを目的として、社会福祉協議会や町内の各小・中学校等の協力により開催されています。

6回目となる今回は過去最高の211名が来場。

当日は、鋸南中学校吹奏楽部の演奏、鋸南小学校JRCの救急法体験、館山警察署員の講話を始めとし、各ボランティアグループが趣向を凝らした発表、体験を行い、大変な賑わいをみせていました。

～愛は地球を救う～

24時間テレビチャリティー委員会から福祉車両贈呈

この度、公益財団法人24時間テレビチャリティー委員会から、車いす用のリフト付き福祉車両が贈呈されました。

「24時間テレビ」は“愛は地球を救う”をテーマに今年で37回となりますが、全国の皆様から寄せられた善意の寄付金は、福祉車両の贈呈などに使われています。

社会福祉協議会では、すこやか「鋸南町デイサービスセンター」の送迎用車両を申請しておりましたが、必要性や緊急性などについて厳正な審査の結果、贈呈が決まったものです。

去る12月12日(金)日本テレビで行われた贈呈式に、斎藤事務局長とデイサービス責任者が出席して目録をいただきました。

その後、12月17日(水)にはリフト付き福祉車両が納車され、早速、デイサービスの送迎に活用しております。

今後は送迎の他に、春には桜見物、秋には紅葉見物など利用者の皆様に季節感を体感していただけるよう有効に活用していく予定です。



リフト付バス「ハイエース」をいただきました

健やかマージャン

～みんな楽しく認知症予防～



誰が勝つか？

“頭を使い” “指先を使い” “楽しくおしゃべりをする” ことで認知症予防の効果を狙った『健やかマージャン』を、毎週月、金曜日の午後にボランティアセンターで開催しています。

町内にお住いの日本スポーツ麻雀協会千葉県支部副理事長の塩谷先生を講師に、17名の方々がそれぞれのレベルに合わせて楽しい時間を過ごしています。

11月からは定期的に大会も開催し、楽しい中にもやりがいも高まってきました。

参加可能な日だけの参加でも大丈夫ですので、関心のある方はぜひご参加下さい。

初心者大歓迎です!

ちば南部地域若者サポートステーション(以下、サポステ)は、働きたいけど・・・どうしたらよいかわからない、自信が持てず一歩踏み出せない、コミュニケーションが苦手、人間関係のつまづきで退職後ブラックが長くなってしまったなど、働くことに悩みを抱える若者(15歳～39歳)とその保護者の方を対象に支援を行っています。

働くことについての専門家)による将来設計についての面談、コミュニケーション能力を築くグループワーク、就職活動のアドバイスなど、職業的自立をサポートしています。

中でもグループワークは、気持ち良く会話をするための練習や、線画を描き集中力を養う講座、話題が増やせるよう新聞記事を使った意見交換会などを行っています。

一人で就職活動や進路選択をする時は、時に孤独を感じ苦しいこともありま

「一歩踏み出す力」を応援します!

ちば南部地域若者サポートステーション

じっくり考えることができ、自立に向けた大きな一歩を支援しています。

お問い合わせ ちば南部地域若者サポートステーション

(場所)木更津駅東口駅前、たちより館2F)

☎0438-23-3711

■開館時間 月～金曜日

(土日祝日、年末年始は

休館) 9:30～16:30

■利用方法 予約制。お電話にてご予約ください。

(料金は無料)

ふくしの泉

次の方々から「福祉の充実と社会福祉協議会の円滑な運営のために役立ててください」とのお言葉を添えて、善意のご寄付をいただきました。皆様方のお心遣いに感謝申し上げます。

☆岩井袋 匿名

二、四二二円

☆シゲタ自動車様

三〇、〇〇〇円

☆市井原 匿名

五、〇〇〇円

☆(株)渡保センター様

三六、五〇〇円